

# ビジネス最前線

③

## 後発薬に狙い、領域広げる

製薬産業で急拡大するシ  
エネルギー医薬品(後発薬)  
業界。メーカーによる投資  
ラッシュが続くなか、化学  
品商社各社が存在感を強め  
ている。商社機能をフル活  
用して海外から競争力のあ  
る医薬原薬(API)調達  
を拡充するほか、受託包装  
や製剤などサービスの領域  
拡張を推進。さらには、海  
外市場向けにAPIや製剤  
の輸出などを視野に入れた  
国際展開も本格化してきた。

海外品調達ニース  
後発薬メーカーは海外の

APIなどを求め外部調達  
を積極化している。これに  
対応し専門商社各社は低コ  
スト、高品質、安定供給をキ  
ーワードに輸入事業を推進。  
厚労省調査によるとAPI  
や中間体の海外調達比率は  
約60%を占めている。さら  
に政府が掲げた2017年  
度までの後発薬普及目標は  
60%であり、一層の海外品  
の需要拡大が見込まれる。  
こうしたなかでAPI専  
門商社のコア商事では  
「後発薬向けの安定供給ニ  
ースが高まっており、既存  
後発薬向け第2ソースの提

## 存在感増す専門商社

案など複数購買化、また先  
発薬APIの切り替えなど  
についても引き合いが増え  
ている」とし、欧州や中国、  
韓国などに加え、インドな  
ど調達先の拡充を図る。

強み生かして参入

また、イワキはインドの  
グレンマーク・ジェネリッ  
クスと提携。高度高齢化社  
会を背景に高血圧や高脂血  
症、糖尿病といったブライ  
マリーケア分野を狙って三  
洋貿易は米国アセトと、ハ  
イケムは中国メーカーと、  
エア・ブラウンはインドの  
オーロピンド・ファーマと  
提携するなど、各社の強み



専門商社はメーカー機能の拡充などを図り需要を取り込む(写真はコア商事が建設した輸入製剤包装工場内のライン)

を生かしてAPIビジネス  
に名乗りを上げている。

高付加価値なアイテムを  
主眼とした差別化戦略とし  
て、カネタは11年に都内に  
高い薬理活性物質を取り扱  
える品質管理施設を建設  
し、抗がん剤や抗生剤、ス  
テロイドなどを主体に展開  
していく。このほどベルギ  
ーのユミコアPMCと提携  
し白金系抗がん剤の販売も  
開始した。伊藤忠ケミカル  
フロンティアは神奈川県に  
自社試験施設を保有、年間  
5品目を目標に新規投入に  
取り組んでいる。

みも加速している。コア  
商事は横浜市の本社近隣に  
輸入製剤の包装工場を建設  
したほか、受託分析センタ  
ーを拡充した。イワキは子  
会社の岩城製薬が蒲田工場  
と静岡工場でのラインをそれ  
ぞれ増強。三谷産業は日医  
工との合弁(アクティブフ  
アーマ)で富山市八尾町に  
新工場を建設しており、近  
く完成する。こうしたグル  
ープ製造部門や委託生産先  
などとの連携を強化し、A  
PIや製剤輸入、受託分析  
業務、剤形変更や包装まで、  
多様なニースに対応できる  
体制構築を急ぐ。

### グローバルに商機

海外展開では、CBCが  
06年に完全子会社化した伊  
プロコスにおいて増強計画  
を具体化している。ま  
た、ダイト  
は国内子会  
社である大  
和薬品工業  
の本社原薬  
工場棟新設  
とともに、  
中国で新製  
剤工場を建  
設中で、年  
央にかけて  
相次ぎ竣工する。総合商社  
では住商ファーマインタ  
ナショナルや伊藤忠ケミカ  
ルフロンティアなどが事業  
化するが、グローバルネッ  
トワークを強みに「国内で  
競争力があるAPIや製剤  
輸出に取り組んでいく」と  
し、新たな商機を狙ってい  
る。

**CPhI Japan**  
where intelligence gathers